EVERSOLO

Eversolo DAC-Z10 ユーザーガイド

株式会社エミライ

DAC-Z10 は AKM のフラッグシップ DAC をデュアルモノ構成で搭載し、AK4191EQ と AK4499EXEQ を組み合わせています。最大 DSD512、PCM 768kHz / 32bit のデコードに対応し、極めて低いノイズと歪みによる純度の高い音を実現します。フルバランスのプリアンプ段には高精度な抵抗アレイを採用し、XLR 出力・RCA 出力・ヘッドホン出力のいずれにおいても、音量調整時の信号の忠実性を保ちます。

入力端子は USB DAC、IIS、オプティカル、同軸、AES/EBU、ARC、Bluetooth 5.0 と幅広く、ストリーマー、CD プレーヤー、テレビ、モバイル機器など多様な音源と組み合わせられます。専用設計のヘッドホンアンプ回路は 16〜300Ω のヘッドホンを余裕をもって駆動し、複数のゲイン段を備えています。

本ガイドでは DAC-Z10 の機能と操作を詳しく説明します。

メイン画面

表示モード

DAC-Z10 のメイン画面の左上には、現在の入出力ポートと音量が表示されます。右側には、VU メーター、スペクトラム、音量情報、ルーティング情報（既定）、全画面切り替えのアイコンが順に並びます。



> メイン画面はダブルタップで全画面表示に切り替えられます。VU メーター、スペクトラム、音量情報の各画面では、左右にスワイプすると表示スタイルを素早く切り替えられます。



クイックオプション

画面右側には「入力ソース（Source In）」「出力（Output）」「設定（Setting）」の 3 つのクイックアクセスがあり、それぞれの機能ページへすぐに移動できます。



入力ソース

入力ソースのメニューでは、DAC-Z10 の信号入力ポートを切り替えます。対応する入力は次のとおりです。

- デジタル入力：USB-B、IIS、ARC、AES、オプティカル（2 系統）、同軸（2 系統）、Bluetooth
- アナログ入力：XLR、RCA

このメニューから使用したい音源を素早く選び、さまざまなオーディオ機器に柔軟に対応できます。

各入力の代表的な使い方

- **USB-B：**デジタルトランスポート、ストリーマー、コンピューターの接続に適しています。
- **IIS：**高解像度のデジタルトランスポートやストリーマーに最適です。
- **ARC：**テレビやプロジェクターとオーディオリターンチャンネルで接続する用途です。
- **AES / オプティカル / 同軸：**デジタルプレーヤー、CD プレーヤーなど高音質の音源に適しています。
- **Bluetooth：**スマートフォンやタブレットなどのモバイル機器と無線で接続します。
- **XLR / RCA：**各種のアナログ音源機器に幅広く対応します。



出力ポート

DAC-Z10 は XLR（単独）、RCA（単独）、XLR / RCA（同時出力）、ヘッドホン出力を備えています。ヘッドホン出力は手動での切り替えが不要です。前面パネルにヘッドホンのプラグを挿すと、システムがヘッドホンのインピーダンスを自動判別し、ヘッドホン出力モードへ切り替わります。



設定

「設定（Settings）」を選ぶと、DAC-Z10 の詳細設定メニューが開きます。オーディオ、DAC、IIS、ディスプレイ、メイン画面、一般の各項目で、使用環境や求める音質に合わせて調整できます。以下、項目ごとに説明します。

オーディオ

マスタークロック

DAC-Z10 は既定で、内蔵の OCXO 10MHz 高精度マスタークロックを使用します。それ以外の EXT の選択肢（50Ω 10M、75Ω 10M、50Ω 25M、75Ω 25M）は、外部マスタークロックの出力仕様に合わせるためのものです。

- **インピーダンス（50Ω / 75Ω）：**外部クロックの特性インピーダンスに合わせ、信号の反射と波形の歪みを抑えます。ジッターが下がり、クロック信号が安定します。外部クロックのケーブル仕様に合う値をお選びください。
- **周波数（10MHz / 25MHz）：**外部クロックの基準周波数に対応します。実際の出力に合わせて選択すると、正しくロックして安定した同期が得られます。

> 外部マスタークロックを接続していない状態で EXT（外部クロック）モードに切り替えると、音が出なくなります。



ARC モード

ARC と eARC の両モードに対応します。接続するディスプレイ機器が対応する規格に合わせて手動で切り替えてください。

- ARC モード：最大 48kHz / 24bit の入力に対応
- eARC モード：最大 192kHz / 24bit の入力に対応



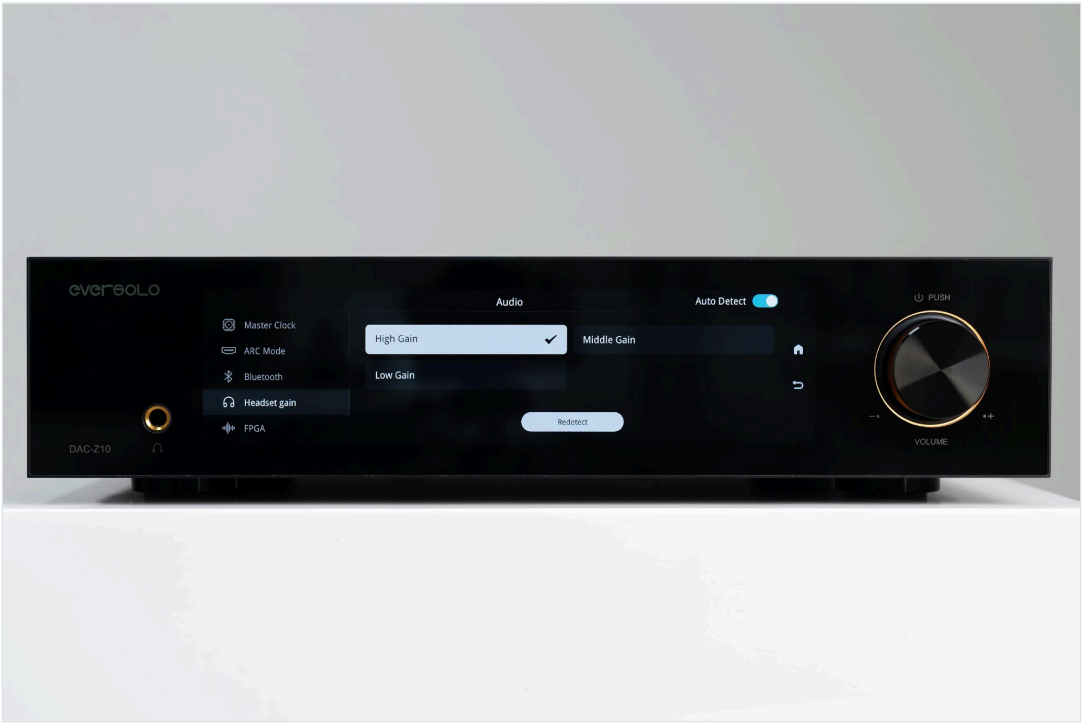
Bluetooth

DAC-Z10 の Bluetooth 情報を確認・設定できます。機器名、ファームウェアのバージョン、MAC アドレス、現在の接続状態が表示されます。Bluetooth 機器が接続済みの場合、機器名の右側のアイコンをタップすると接続を解除できます。



ヘッドホンゲイン

DAC-Z10 のヘッドホン出力は、ハイ／ミドル／ローの 3 段階のゲインに加えて自動判別に対応します。ヘッドホンを接続すると、システムがインピーダンスと必要な電力を判別し、適切なゲインへ自動的に切り替えます。



FPGA

クロック信号の整形に用います。有効にするとジッターがさらに低減し、デジタル信号のタイミング基準が安定します。DAC へより正確なデジタル入力を渡せるため、音の純度と細部の表現が向上します。



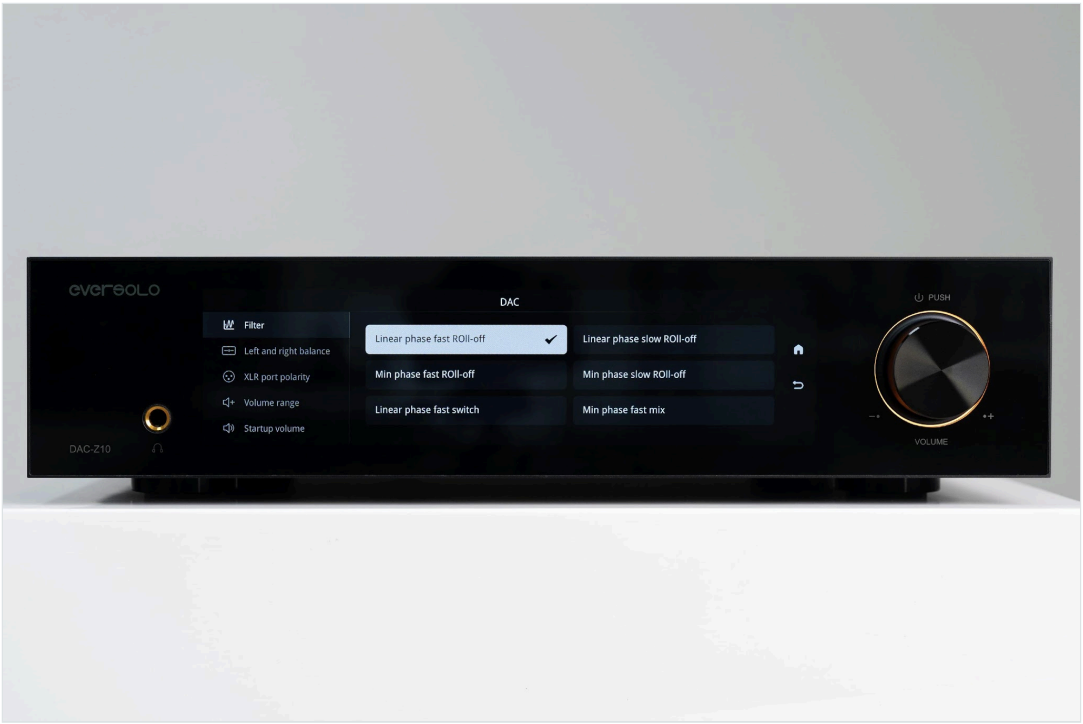
DAC

フィルター特性

AKM のフラッグシップの組み合わせである AK4191 + AK4499 は、複数のデジタルフィルターモードを備えています。組み合わせる機器やお好みに応じて音の傾向を選べます。

6 つのフィルターモードの技術的特徴と音の傾向は次のとおりです。

- **Linear phase fast ROLL-off**（フィルター強度：強／レイテンシー：中）— 明瞭で鋭く、解像度が高い。デジタル再現として最も正確
- **Linear phase low ROLL-off**（中／中）— 自然でなめらか。よりアナログ的な質感
- **Min phase fast ROLL-off**（強／低）— 明瞭で立ち上がりが速い。ダイナミクスが向上
- **Min phase slow ROLL-off**（中／低）— 柔らかく自然。NOS に最も近い
- **Linear phase fast switch**（極低／中）— 最も柔らかくアナログ的。レコードのような佇まい
- **Min phase fast mix**（中／低）— 自然で安定し、定位が正確。位相特性に最も優れる



左右バランス

左右チャンネルの出力バランスを調整します。部屋の間取り、スピーカーの配置、ヘッドホンの左右のユニット差などによる音像の偏りを補正できます。音像が片側に寄っている場合、バランスを調整すると 中央に戻り、より正確な定位が得られます。



XLR 極性

XLR 出力のピン極性を切り替えます。Hot / Cold の反転に対応し、接続機器の配線規格の違いに合わせられます。



音量レンジ

「音量バイパス」「音量ステップ」「音量リミット」をまとめて設定でき、システムやお好みに合わせて音量の挙動を調整できます。

- **音量バイパス（Volume Bypass）：**有効にすると DAC はフル出力となり、音量調整が無効になります。接続したプリアンプやアンプ側で音量を調整してください。
- **音量ステップ（Volume Step）：**音量調整時の刻み幅を設定します。0.5dB、1dB、2dB、3dB から選べます。
- **音量リミット（Volume Limit）：**XLR / RCA アナログ出力の最大レベルを設定します。設定範囲は −40dB〜0dB です。



起動時の音量

DAC-Z10 の電源投入時の音量を設定します。既定（Default）のほか、−5dB〜−30dB の固定値から選べます。既定では、前回電源を切ったときの音量が使われます。



IIS

接続する DAC やオーディオシステムの入力仕様に合わせて、IIS の出力プロトコルモードを選択します。

- **MUTE：**Active High と Active Low を切り替えられます。
- **MODE：**8 種類の IIS ピンアサインモードを切り替えられます。



ディスプレイ

ノブの明るさ

ロータリーノブのインジケーターライトの明るさを調整します。0 に設定するとインジケーターが消灯します。



ノブの発光色

ロータリーノブのインジケーターは RGB の発光に対応し、複数のプリセットカラーから選べます。



画面の明るさ

昼間や夜間など使用環境に応じて自由に調整でき、見やすさと快適さを最適化できます。



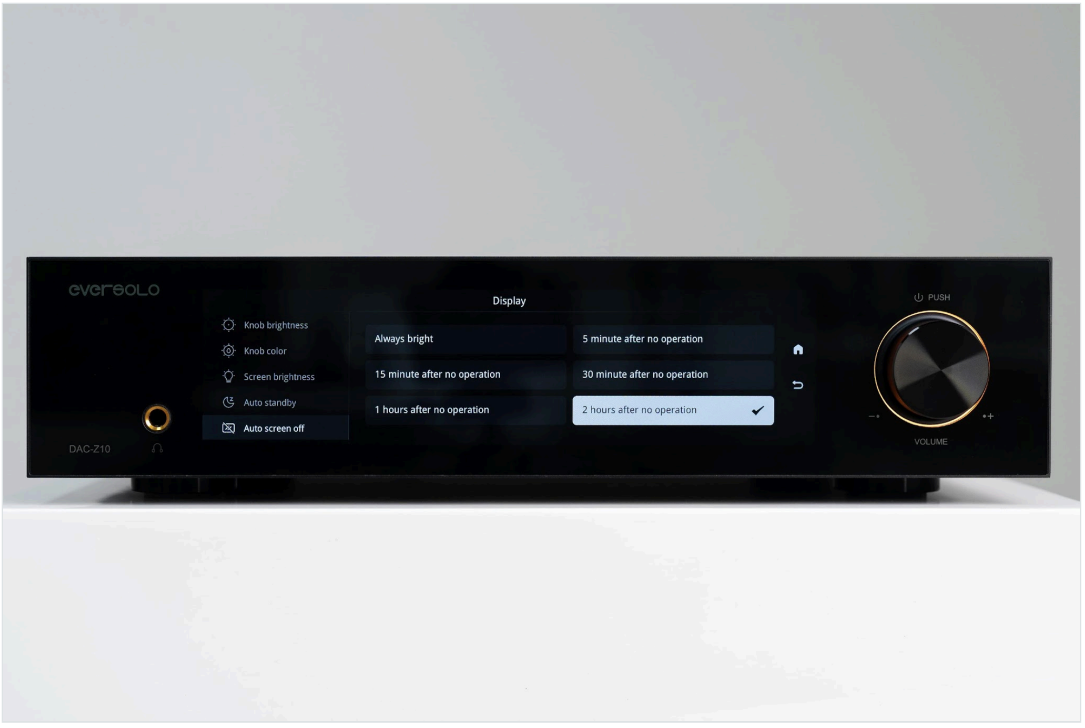
自動スリープ

音声信号が検出されない状態が続くと、DAC-Z10 は自動的にスリープへ移行します。この機能は無効にできるほか、無信号が 1〜30 分続いた場合に作動するよう設定できます。



画面の自動消灯

前面ディスプレイの動作を設定します。常時点灯のままにするか、操作しない状態が 5 分〜2 時間続いたときに自動的に消灯するかを、使い方に応じて選べます。



メイン画面

VU スタイル

メイン画面の VU メーターのスタイルを選択します。複数のスタイルが用意されています。



スペクトラムスタイル

メイン画面のスペクトラム表示のスタイルを選択します。複数のスタイルが用意されています。



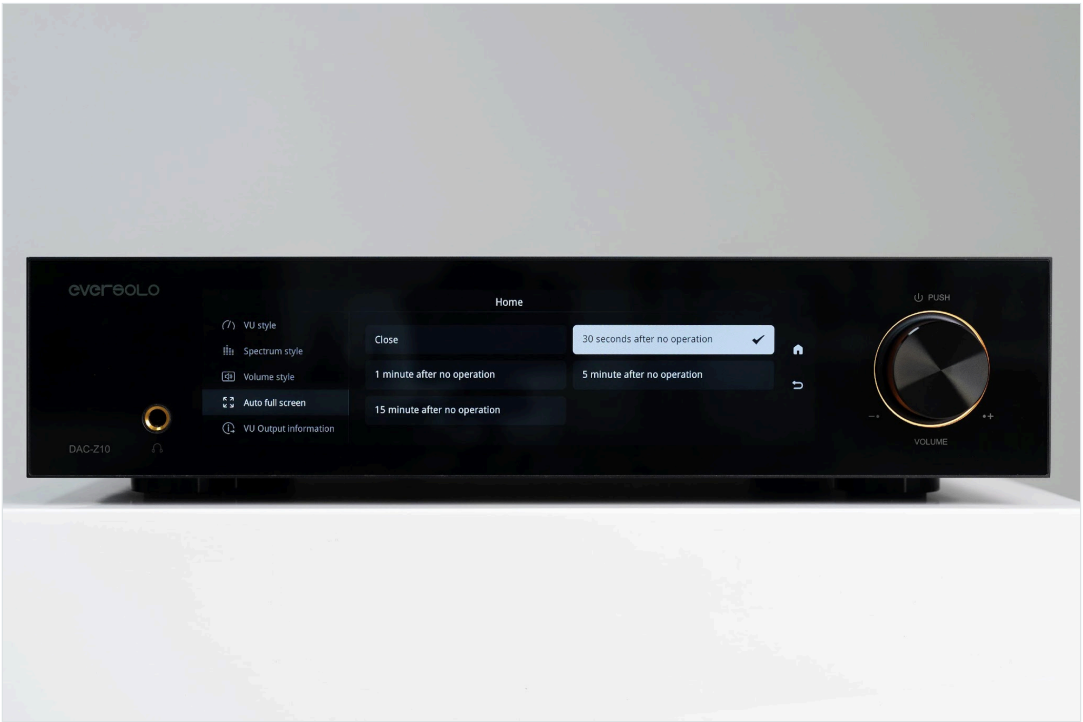
音量表示スタイル

メイン画面の音量表示のスタイルを選択します。複数のスタイルが用意されています。



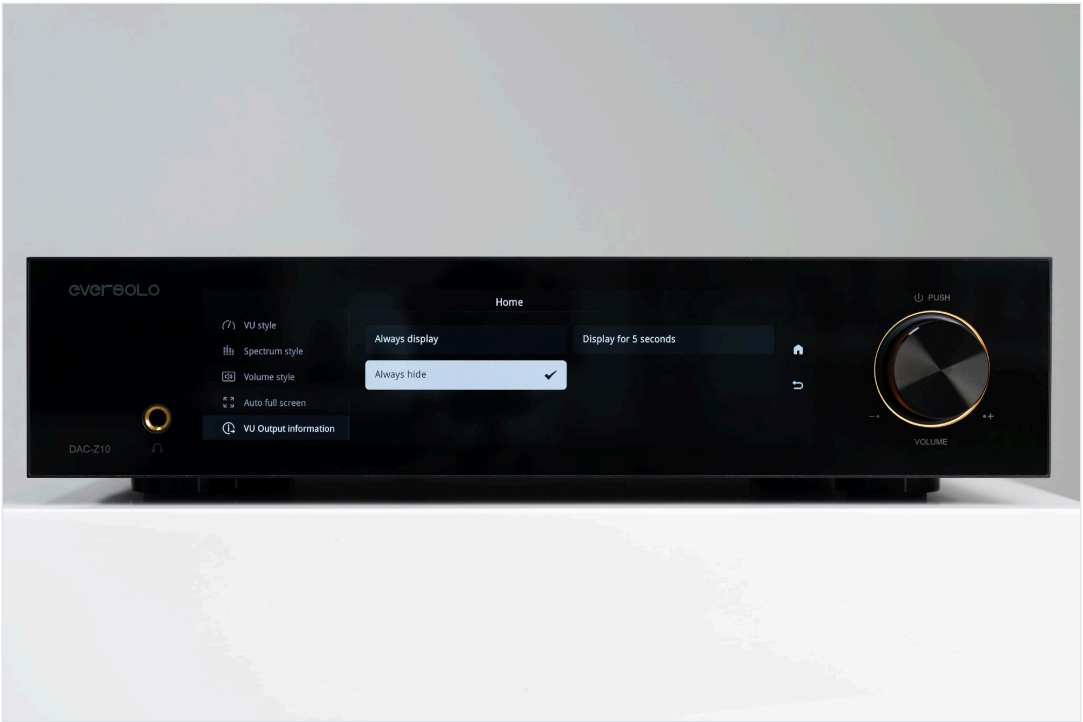
自動全画面

メイン画面の自動全画面表示を無効にするか、操作しない状態が 30 秒〜15 分続いたときに自動的に全画面へ移行するよう設定します。



VU 出力情報

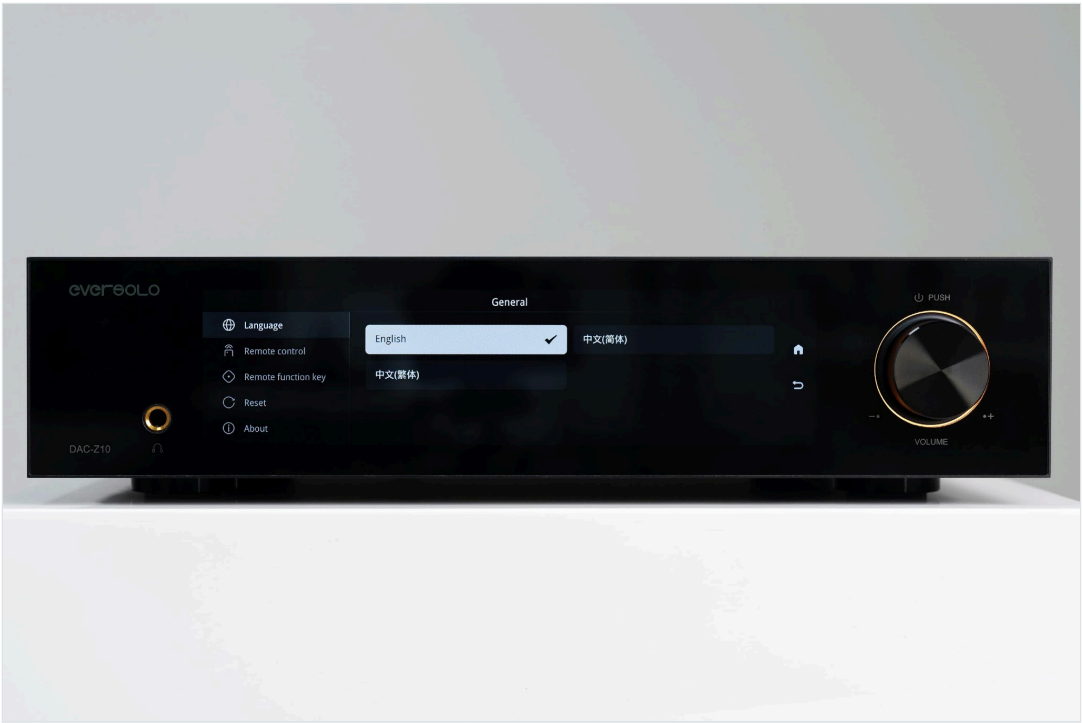
常時表示、5 秒間だけ表示、常に非表示、の 3 つから選べます。



一般

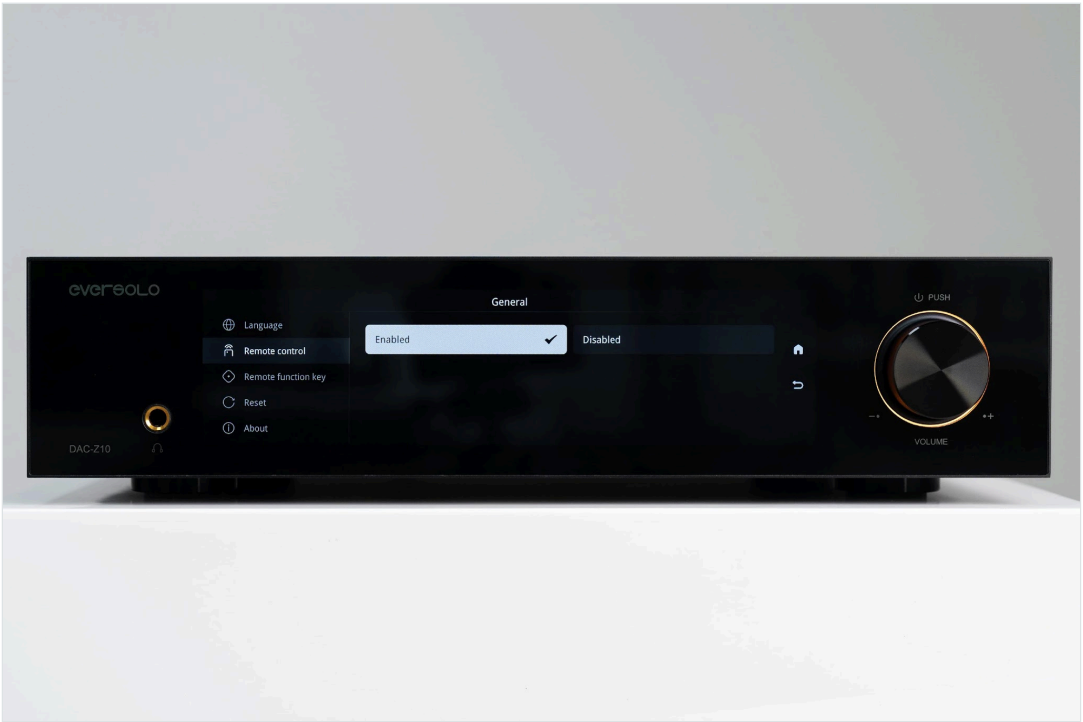
言語

DAC-Z10 のシステム言語を切り替えます。



リモコン

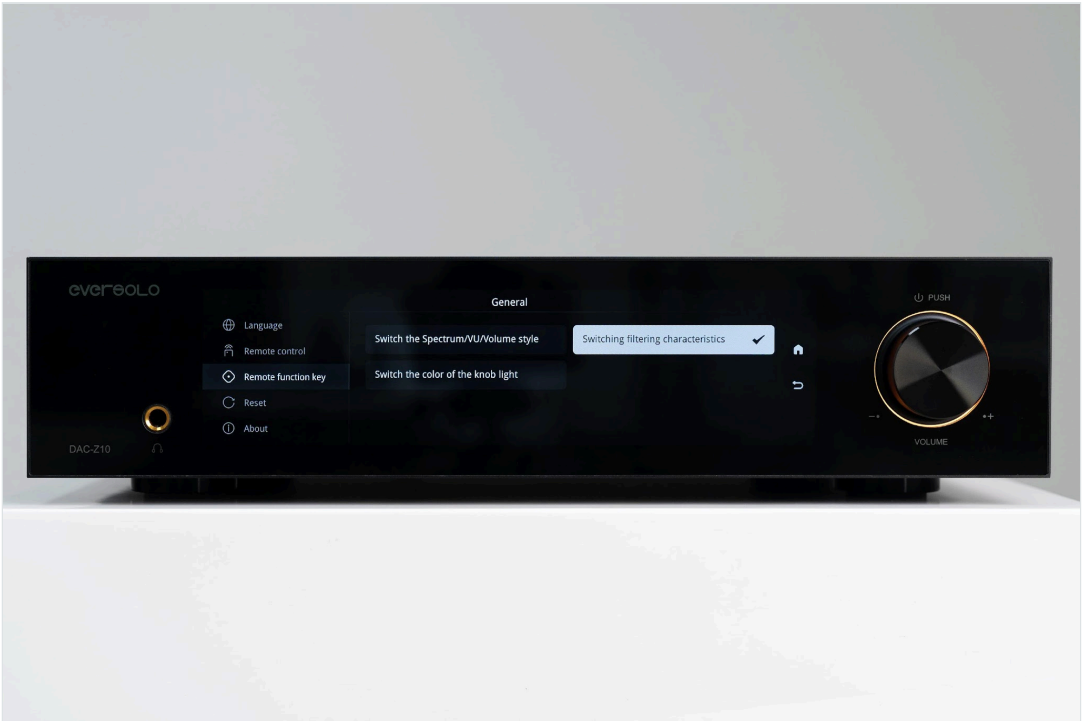
リモコンの有効／無効を切り替えます。



リモコンのファンクションキー

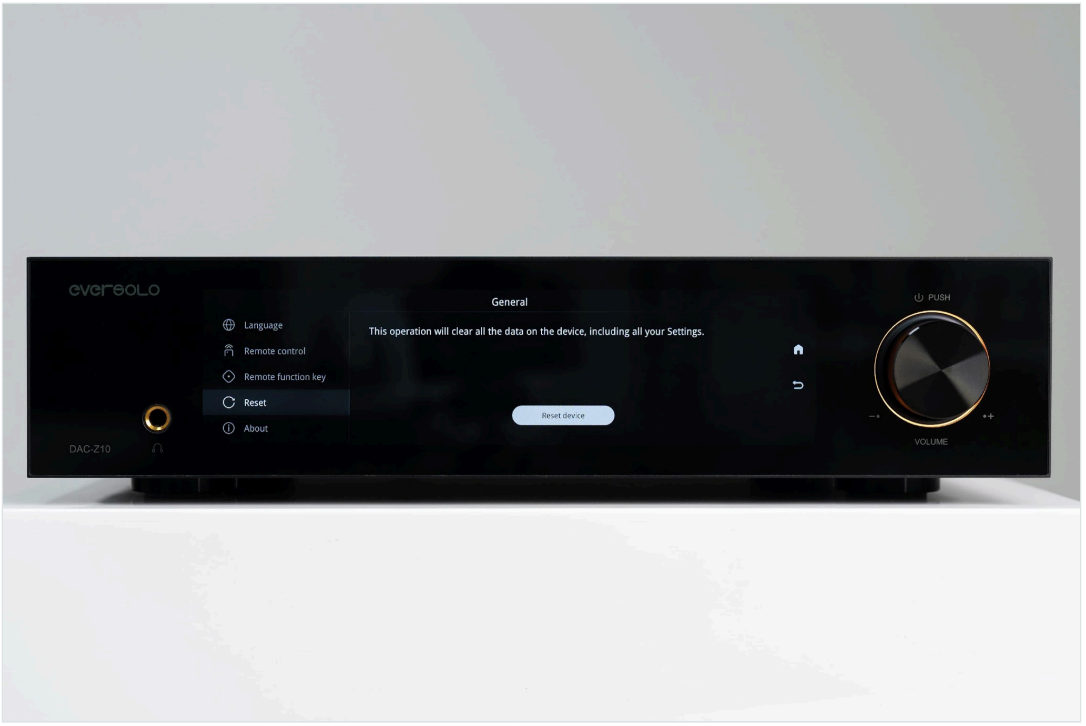
リモコンのファンクションキーの動作を設定します。3 つのモードに対応します。

- **スペクトラム / VU / 音量スタイルの切り替え：**メイン画面の 3 つの表示スタイルを順に切り替えます。
- **フィルター特性の切り替え：**DAC のデジタルフィルターモードを順に切り替えます。
- **ノブの発光色の切り替え：**ロータリーノブのインジケーターの色を順に切り替えます。



本体の初期化

すべてのデータと個別の設定を消去し、工場出荷時の状態に戻します。



バージョン情報

DAC-Z10 に関する情報を表示します。

- **左：**機器の型番とソフトウェアのバージョンを表示します。ソフトウェアバージョンの横の矢印をタップするとシステム更新の画面に入り、ローカルのファームウェア更新が行えます。
- **中央：**ハードウェア情報と主な機能を表示します。
- **右：**QR コードを表示します。モバイル機器で読み取ると、コントロールアプリを素早くダウンロードできます。



ファームウェアの更新

ファームウェアの更新パッケージは公式サイトからダウンロードしてください：https://www.eversolo.com/Support/downloads.html

DAC-Z10 のファームウェア更新ファイルを USB メモリーのルート（最上位）ディレクトリにコピーし、本体背面の USB-A ポートに挿します。

「設定（Settings）」→「一般（General）」→「バージョン情報（About）」へ進み、ソフトウェアバージョンの横の矢印をタップしてシステム更新のメニューに入ります。該当する更新ファイルを選び、画面の指示に従って更新を完了してください。更新が完了すると、本体は自動的に再起動します。

> 更新時のご注意
> ・更新ファイルは USB メモリーのルートディレクトリに置いてください。
> ・ファイル名は **EVERSOLOZ10.PKG** である必要があります。
> ・USB メモリーは FAT32 形式でフォーマットしてください。
> ・更新の実行中は、電源を切ったり USB メモリーを抜いたりしないでください。



> Eversolo 製品のファームウェアは随時更新されるため、本ガイドの操作画面や説明が実際の製品と異なる場合があります。機能や操作の経路は、ご使用の機器のシステムバージョンに準じます。